

吉野川市立牛島小学校

1 学校の概要

- ① 児童数 129名
- ② 学校教育目標・めざす児童像

○学校教育目標

努力・真心・健康の大切さを教育活動に浸透させ、校訓「誠実」の具現化を図る。

○めざす児童像

- 「努力」
 - ・あきらめずにがんばる子
 - ・なにごとにもチャレンジする子
- 「真心」
 - ・心をかよわせるあいさつ、へんじをする子
 - ・まわりの人にやさしくする子
- 「健康」
 - ・早寝，早起き，朝ご飯を心がける子
 - ・体をうごかすあそびをする子



- ③ 環境目標・テーマ

～自分たちの住む地域や自然を大切にするために、
自分たちができることを考え、実行しよう～

2 行動方針

- ① 電気・水を大切に使い，省エネルギーに努めます。
- ② ゴミの減量・空き缶等を収集し，リサイクルに努めます。
- ③ ゴミの分別に努めます。
- ④ クリーンエネルギーについて学習します。

3 行動

- ① 節電・節水



校舎内の水道施設や照明のスイッチ等に，環境・JRC委員会が作成した節水・節電に関するポスターや標語などを掲示し，児童に電気や水を大切に使うよう呼びかけている。また，代表委員会で話し合った内容を，朝会時に児童会役員が週目標や気をつけることとして発表し，全校で取り組んでいる。

- ② プルタブ・空き缶収集，リサイクル活動

印刷した用紙の裏面を再利用することにより，ゴミの減量に努めている。また，児童会や環境・JRC委員会が中心となり，プルタブや空き缶収集を呼びかけている。児童

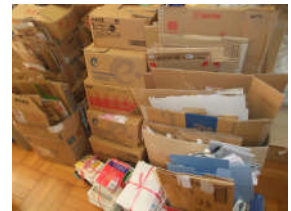


や保護者，地域の方々にも協力していただき，たくさん集めることができた。

毎年，8月と2月に集まったプルタブや空き缶を整理したり，地域の方々に協力していただいたりして，隔年で車イスなどを購入している。今年度購入し，病院等に寄贈する予定である。



③ ゴミの分別



ゴミを分別することで，ゴミの減量（リデュース），再利用（リユース），再資源化（リサイクル），不要なものは断る（リフューズ）に取り組んでいる。

ビンやペットボトル，雑紙やダンボール等はそれぞれ分別・整理し，市指定の収集日に資源ゴミとして出している。また，児童や職員もリサイクルを意識して再利用できる物を分別・整理して，燃やせるゴミの量を減らすよう心がけている。

④ 環境についての学習

4年生が「総合的な学習の時間」に浄化センターを見学し，水の大切さと自分たちが住む地域の環境について学習した。



〈浄化センター見学〉

また，太陽光発電の特徴や仕組みについて学習することで，CO₂を排出しないクリーンエネルギーについて知ることができた。発電量を表示する装置が玄関に設置されているので，日常的に発電量を観察することができた。



4 具体的効果

◆ 児童・職員ともに，環境を守るためにできることを少しずつ実践できるようになった。

◆ 節水・節電・ゴミの分別に対する意識が以前より高くなってきた。

（使用していない部屋やトイレの電気を消す。歯みがきの時に水を出しっぱなしにしない。）

5 改善点

◆ 学校から家庭や地域に発信する機会を増やし，地域と連携して環境問題に取り組んでいきたい。

◆ 環境に対する意識が高まってきているので，引き続き児童の意識が継続するように活動を工夫，充実していきたい。